



校内百人一首大会 12.9

生徒が歓喜する学校行事・・・代表的な行事は体育大会と合唱コンクールです。体育大会でも合唱コンクールでも成績発表の瞬間の静寂後に生徒の歓喜の声があがります。それだけ思いのこもった行事ということが伝わってきます。

百人一首は古典文学に親しむ教材として中学校、高等学校で取り扱われ、どちらかといえば歓喜の声とはほど遠いものと思っていました。

でも、優勝した3年1組の歓喜する様子や優勝に届かなかった他の学級の悔しがる様子から、百人一首大会にかける思いが伝わってきました。



参観日ということで、多くの保護者の方や学校運営協議委員の皆様にも参観していただきました。子どもたちが元気よく楽しく活動する様子をご覧いただけたと思います。保護者向けのアンケートも sigfy で送らせていただいていますので、ご協力よろしくお願いします。

性教育講演会 11.18

講師として国立病院機構都城医療センター助産師の中間麻美（なかまあさみ）氏にお越しいただき、「命の尊さ『いのち』と『性』の話」という演題で性教育講演会を実施しました。

生命の誕生、心身の変化と二次性徴、思春期の悩み、より良い付き合い方、デートDV、多様な性について、100分があつという間に過ぎる講演会でした。227名分の感想がありますが、紙面の都合上3名だけ感想を紹介します。



- 私は性のことを悩んでいたことがあったけれど、今日の話聞いて安心したこともありました。
・・・最後に私が生まれてこられたのは、お母さん・お父さんのおかげだと、あらためて思いました。
私は小さい頃よく泣いていたいへんだったと聞いたことがあるので、育ててくれたことに感謝したいです。
- この講話を聴くことができ、女子の辛さ、男性とどう向き合うのが正しいか、命の尊さ、大切さについて学びました。・・・女の子には生理がありイライラすることがあるけど、男の子として優しく家事を手伝ったり「休んでいいよ」と言ってあげられる人になりたいです。お互い弱い部分を補いながら共に生活していけるように努力していきたいです。
- 全て大切な命だという事が分かりました。DVなどをしないようにしたいし、する人とも付き合いたくないと思いました。SNSに自分が載せて恥ずかしい思いや見られたくないものは、絶対にあげない様にしようと思いました。私は将来大人になったら赤ちゃんは欲しいけど、産むのが怖いと思っていました。でも、お母さんが私を産んでくれたように私も頑張ってお産してみようかなと思うようになりました。出産するということは、新しい命が生まれるという事をあらためて実感しました。